

令和5年度神戸大学病院群初期研修プログラム 医師臨床研修修了証書授与式

研修医瓦版

4 月 号

発行
神戸大学医学部附属病院
総合臨床教育センター



3月15日（金）に令和5年度医師臨床研修了証書授与式がシメックスホールにて開催されました。一般コース、たすぎがけコース、小児科医育成コースの研修医が2年間の初期研修を修了しました。研修医を代表し、チーフレジデントの4名の研修医へ修了証書を授与しました。多くの方にご出席いただき、素晴らしい修了式となりました。皆さまの新しい旅立ちを祝福し、今後のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます！

チーフレジデント

◇たすぎがけコース

高橋 慧先生

◇一般コース

中澤 碧先生
加藤 拓実先生

修了証書授与式内で表彰された先生方よりメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。



ベストティーチャー賞



救命救急科
山田 勇先生

研修医の皆さん、大学での研修お疲れ様でした。大学での研修は終わりましたが、これからは医師としての研鑽は続いていきます。自分が若い頃は全てが環境が随分と違いますが、私自身の後悔を書きます。私が卒業した医大は地方新設医大で、入学時には卒業生がおらず、関連病院がほぼなく大学のスタッフは全て他大学の出身でした。当時の私は、母校はとも小さな小さな船の様であり、不安を感じていました。そのため、卒業後すぐに神戸大学外科に入局しました。神戸大学や旧帝大のような大きく立派な船に乗りさえすれば、放っておいてもどこか素晴らしい場所に運んでくれるものと信じていました。しかし卒業後30年を経ると、母校に残った卒業生はその小さな船を自身の力で懸命に漕ぎ続け研鑽を積み、立派な業績を残していました。しかし私自身は、大きな船に乗った気持ちで慢心し自身の努力をせず、組織に甘んじ、気付くと随分と月日が経っており若いころの理想とかけ離れた自分がいました。どんな組織に所属するか？どこで働くか？どんな立場で働くか？そんな事より一番重要なことは、ひとりの医師として良い医者になるために、どんな環境でも、自分自身でひたすら努力する事です。どうかこれからも続く医師としての人生を、悔いの無いように送ってください。



放射線診断・IVR科
神田 知紀先生

研修医の皆様、研修生活無事修了おめでとうございます。今年も多くは研修医の先生に放射線科の業務を手伝っていただき、その上このような賞までいただけてありがとうございます。専攻医となられた先生方はこれから専門医への道へと進まれますが、研修医とはまた違うストレスを感じる毎日が始まるかと思えます。くれぐれも病まないように適度な労働環境を保つようにして仕事に望むようにしてくださいね。



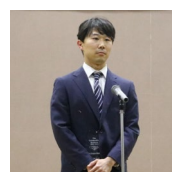
小児科
猪野木 雄太 先生

2年間の初期研修プログラムを修了された先生方、おめでとう
ございます。研修医の皆様、研修医の皆様、この度はベスト
ティーチャー賞に選んで頂きありがとうございます。
初期研修が終わると、自分で責任を持つて判断をする機会が増
えてきます。正しい判断ができなかったときは、なぜできな
かったのか(知識や技術が足りなかったのか、評価するパラメー
ターや評価の仕方が違っていたのか、パラメーターの解釈が間
違っていったのかなど)を突き詰めて考えて、次に似たような症例
に出会ったときに、どうすればより良いマネジメントができる
のかを学んでください。1例1例内省していくことが診療能力
をつける地道で最短ルートだと思うので、大変だと思いますが
頑張ってください！成長した先生たちに会えることを楽しみに
しております！



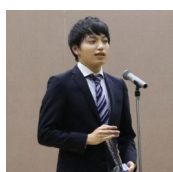
総合内科
乙井 一典 先生

研修医の皆さん、初期研修プログラムの修了、おめでとうござ
います。この度は名誉な賞を頂き有難うございました。長い医
師人生の中で、最初の2、3年は特に医師としての在り方、
物事への取り組み方などを形成し、どの診療科でも必要な「医
師の基礎体力」を身につける重要な期間であり、皆さんのレベ
ルアップの一助になればと思います。成長した皆
さんと、またどこかで一緒に働く日が来ることを楽しみにして
おります。



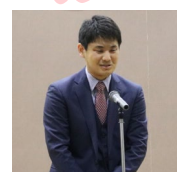
ベストレジデント賞
2年目研修医（たすきがけコース）
大村 晃太郎 先生

2年間のたすきがけ病院および神戸大学病院での研修で、各科
の先生方や病院スタッフの皆様、動機、後輩の研修医、総合臨
床教育センターなど多くの方々から助けていただき、心より御礼
申し上げます。こうして無事に2年間の研修を終えることがで
き大変嬉しく思います。来年度からは兵庫県内の脳神経内科で
勤務いたします。少しでも皆様の力になれるよう日々精進いた
します。今後ともよろしくお願いいたします。



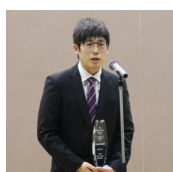
2年目研修医（一般コース）
山川 惇之介 先生

この度は優秀な同期の先生方の中で、ベストレジデントに選出
して頂き恐悦至極に存じます。
当院は大病院であり研修医でありながらも、最新かつ高い水
準の医療を学ぶことができ、三年目以降の礎となる非常に素晴
らしい研修を経験できました。またコメディカルの方々との協
働を通し、臨床の何たるかをエッセンスとして体得できたので
はないかと思えます。
当院での研修は指導医の先生方やスタッフの皆様方、そして研
修医の皆さんに助けられ続けた二年間でした。この場を借りて
御礼申し上げます。ありがとうございました。



2年目研修医（一般コース）
國井 翼 先生

この度は、ベストレジデント賞に選出いただきましたことを誠
に光栄に存じます。
いつも温かく見守ってくださる先生方や同期が支えてくれたお
かげと感じております。
この2年間、周りの皆さまに支えられ、そして優秀で優しい多
くの研修医に囲まれ、何不自由なく充実した初期研修を送るこ
とができました。たくさんの方と一緒に仕事できたことが、
私にとってかけがえない思い出です。
これからも至らない点まだまだたくさんございますが、引き
続きご指導をよろしくお願いいたします。



1年目研修医（一般コース）
山内 朋紀 先生

この度はベストレジデント賞にご選出いただき、ありがとうございます。
お陰だと感じています。
この1年間で感じたことは、仲間の大切さです。1人ででき
ることは限られています。4月から入職される皆様、他の研
修医と助け合いながら研修生活を送ってください。
最後に、神戸大病院のスタッフの皆様、多方面でご迷惑をおか
けますが、私たち研修医の指導を今後ともよろしく願いま
します。



ベスト病棟賞



4階南病棟
榎谷 綾 看護師長

研修医の皆様、この度は、研修医プログラム修了おめでとうございます。
それから、昨年度に引き続き4階南病棟をベスト病棟へ選出いただき、ありがとうございます。
4南病棟には、様々な診療科の患児が入院しております。そのため、4南病棟で働くには、多様な診療科の医師と協働し、また多職種で協働できることが必須条件であると考えております。今後、ご縁がある時には、皆様と一緒に患児を見る機会もあらうかと思えます。その時には、皆様と密なコミュニケーションを取り、チームとして患児に関わっていくことができればと願っております。また、これからの皆様のますますのご活躍をお祈りしております。



産科病棟、M.F.I.C.R./産科婦人科外来
野牧 弘子 看護師長
(授与は代理 藤本 副看護師長)

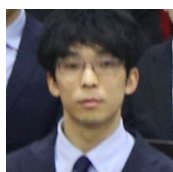
研修医の皆様、研修修了おめでとうございます。この度はベスト病棟賞をいただきありがとうございます。私達は24時間体制で周産期医療を提供しています。患者の安全安心のために多職種それぞれが修練に取り組み、倫理やコミュニケーションを大切にしながら協働しています。皆様は、進まれる専門領域のチーム医療において大きな役割を担われていくことと思えます。経験を積みながら医療人として成長され、益々ご活躍されることをお祈り申し上げます。

サンクス診療科賞



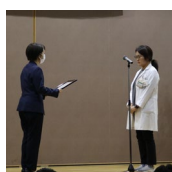
総合内科
代表 乙井 一典 先生

研修医の皆さん、副直でもお世話になりましたが、2年間お疲れ様でした。この度は名誉な賞に当科を選出頂きましたが、各科からの派遣医師との混成チームにつき、内科学全科に頂いた賞と思っております、有難うございました。多疾患併存症例が多い当科で研修する中で、患者全体を診る「全人医療」を意識した診療ができる医師になってもらえたらと思っております。成長した皆さんとまた一緒に働く日が来ることを楽しみにしております。



食道胃腸外科
代表 澤田 隆一郎 先生

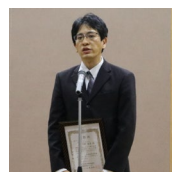
研修医の皆さん、研修お疲れ様でした。サンクス診療科に選出いただき、食道胃腸外科の日々の診療に対する熱量が少しでも伝わったのではないかと嬉しく思っています。これから各専門分野に進まれた後も、皆さんの益々のご活躍をお祈りしています。



眼科
代表 山田 裕子 先生

研修医の皆様、初期研修修了おめでとうございます。そして、この度はサンクス診療科に選出頂きありがとうございます。眼科一同、大変嬉しく思っております。眼科での研修が、少しでも良い経験となれば幸いです。眼科は選択診療科ですが、豚眼を使用したハンズオンセミナーは毎月夕方に行っておりますので、今後も興味のある研修医の先生方をお待ちしております。初期研修終了後も医師としての研鑽は続きますが、初期研修で学ばれたことを糧に、皆様の更なる飛躍をお祈り申し上げます。

教育功労賞



腫瘍、血液内科
今村 善宣 先生

このような賞を受賞致しまして大変光栄です。13年前、医師3年目に個人的に始めたCBC勉強会が、在間先生との相談を経て病院公式行事となり、木村先生のアドバイスでレベルアップし、今の研修医レクチャーシリーズになりました。若手だからこそ正確にニーズを理解できたのだと思います。また半学半教の実践により、自らも成長できたのだと感じています。是若手医師の皆さまにも、教育を医師人生の一部に是非組み込んで欲しいと思います。



放射線診断、E.V.R科
元津 倫幸 先生

このたびは功労賞にご推挙頂き、心より感謝申し上げます。手技の安全な実施には各工程の深い理解が必要です。講習会ではポイントを伝えると同時に、受講者が新たな気づきを得られるように配慮しています。みなさまの技術が次世代に伝える際の参考にしていただければ幸いです。

